

- ・コラム「寛容さと多様性」
- ・お知らせ(9周年感謝セール)
- ・スタッフ雑感(松村 尚俊)
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

167号/2015

▶ Since 1984

「寛容さと多様性」

杉浦 良

40年もいろんなハンディーを持ったメンバーたちとお付き合いさせていただいていると「もう勘弁して欲しいわ・・・」と感じる瞬間と「解ったつもりでも、奥が深くてエンドレス。いつまでたってもハッとさせられるわ・・・」と思う時があります。知的ハンディーのある子供たちから始まり、重度の心身障がいのメンバーや、CPのメンバー、盲聾のメンバー、そして精神障がいと呼ばれるメンバーなどに関わらせてもらう度に、「障がい者」と言われる方々の多種多様性を想わずにはおれません。



新人メンバー歓迎会の準備(月の宮共同生活棟)

支援学校を卒業したばかりのメンバーの歓迎会(キムチ鍋)を、3月23日午後7時から行いました。トイレやお風呂、玄関や部屋の掃除、窓拭きや掃き掃除、30人分のどんぶりとお皿の用意(皿洗い含む)。キムチ鍋の食材(野菜、キノコ、肉など)を包丁で切り、皿に並べる。テーブルを並べ、カセットコンロを用意して、鍋を5つ用意する。様々なハンディを持ったメンバーがこれらの準備を分担して進めて行きます。※キムチ鍋の汁(15ℓ)は杉浦が作りました。

太陽と緑の会にも様々なハンディーあるメンバーたち(18歳から65歳)28人が、日々の作業や活動に「破れ鍋と綴じ蓋的アプローチ」で取り組んでいます。お日(おひ)様(さま)西西(にしにし)的状況とは正反対の現実があります。それぞれ困難な角度が違い、ある方にとってはベターなことが、ある方にとってはそうでないことがたくさん出てきます。

近代合理主義の見地からすれば、違いを分類区分して、その特性を導き出し、特別な対策を取るといような形になるので、それぞれの特性に合わせて成り立たせる対策が取られます。これは合理的で理にかなったことのように見えますが、人間が社会から離れて生きていけない以上、特定の人たちだけの社会は成り立ちません。無理に作ろうとすると内部崩壊していく事例は、枚挙にいとまがありません。そう歴史から学べば、たとえ生きにくい社会であろうとも、そこで折り合いをつけて、生きる知恵を磨くことの大切さを思います。

「共生社会」「インクルージョン」などという言葉が使われるのも、そういったことが背景にあるのでしょう。ただこれは語るのも書くのも簡単で、人当たりも良いですが、実際には、大変な困難さを伴います。違いを認めることの大変さは、セクショナリズムの歴史を見れば一目瞭然です。自分と同じ価値観やルーツに寄り掛かることの甘美さは魔性的です。学力と言われるエリア以外の、人間的な度量の広さや成熟度といったあたりの領域を鍛えることになります。これは修行とよく似て際限がありませんし、資格試験や実技試験にも適しません。

そんなことをつらつら考えていると地元新聞の記事が目にとまりました。

「地方創生の事例として神山町の動きが取り上げられるようになってから『どうして活気があるのか』『なぜ神山を選んだのか』と聞かれる。神山は人口6千人の過疎の町でどこにでもある典型的な田舎だ。抱えている課題も他の地域とほとんど変わりがない。ではなぜ今日のような展開が実現できたのか。多くのメディアや研究者が考察しているが、この2年間住んで感じたのは『寛容さ』である。ほんの少しだけ他の地域より寛容といえる。・・・大抵のことにあまり目くじらを立てない。その『寛容さ』によって他の地域よりいい意味で変人が入り込む余地ができる。そしてその人たちによって地域に『多様性』が広がり、新たな事業や活動のきっかけになっている。ポイントは個々の変人たちではなく、結果的にできた多様性にある。それこそが神山が特定の人や産業に頼ることなく、活性化を実現した理由だと考える。・・・しかし、これは簡単なことのように難しい。自らを振り返っても、つい趣味嗜好や好き嫌いで離合集散してしまう。・・・徳島でシンプルだが大事なことをまなばせていただいている。」地方創生で注目を集めている神山町の隅田徹さん(株式会社えんがわ社長)が、神山派生小話と称して「時評とくしま」(徳島新聞5月1日)に書かれていました。

「地方創生」と「様々なハンディーを持ったメンバーたちの共生の在り方」、全く別物であるけれど、底流では共通した最先端のテーマが流れています。

お知らせ

9周年記念感謝セール

4月16日(木)～19日(日)の4日間、火災からの復興9周年を記念して感謝セールを行いました。

平成17年2月27日未明、太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗だった70坪2階建てプレハブの建物が全焼しました。

太陽と緑の会は運営費の85%をリユース品の販売収入で捻出しており(公的資金への依存度は13%)、火災によってそれを失いました。

厳しい状況の中で、徳島県内外から寄せて頂いたカンパ、応援メッセージは、私たちにとって本当に心の支えとなりました。

建物・備品の再建費用は、火災保険、自己資金、そして皆様からのカンパですべて賄いました。公的資金は一切入れていません。

当会の作業所で働く様々なハンディを持ったメンバー28名のうち、15名は新館オープン後のメンバーです。

朝のミーティングで再建の経緯を話し、「今あることは決して当たり前でない」ことを確認して、セールのスタートを迎えました。

※「セールの日程を知らせてほしい」とのリクエストを何人かのお客様より頂きました。

感謝セールの日程については、太陽と緑の会のホームページ、Facebookページでお知らせしております。

ぜひご覧下さい

定休日変更のお知らせ

毎週水曜日 祝日
第2第4火曜日

今年から変更いたしました。

よろしくお願い致します。

6月、7月の定休日

6/3 6/9、10

6/17 6/23、24

7/1 7/8 7/14、15

7/20 7/22 7/28、29

※太陽と緑の会のホームページ、Facebook ページでも、定休日の日程をお知らせしております。

太陽と緑の会ホームページ

<http://www.t-midori.org/>
(Google、Yahoo!で「太陽と緑の会」で検索すると出てきます)

◎品物のお引取のご依頼もできます。

(お引き取りしている品物、お伺い可能な市町村も掲載中です)

◎写真版活動紹介、パンフレット、機関紙バックナンバー、沿革などもあります。

太陽と緑の会 Facebook ページ

機関紙とは異なるタッチの写真つきコメントや、リユース品の紹介、セールのご案内、その他タイムリーな情報紹介も行ってます。

スタッフ雑感

今回、久しぶりにここに書かせてもらう事になったスタッフの松村です。

年明けから「太陽と緑の会」は新体制に変わり、3月から新しいメンバーさんも入って来て、しばらくはバタバタしていましたがようやく落ち着きを取り戻してきたように感じれるこの頃です。

そんな日々の一部ですが、紹介してみようかと思えます。

3月〇日

明日から〇君が正式に通所するという日、いつもはおしゃべりばかりのKくんが朝から目一杯に動き回ってくれている。通所一年目ではじめての後輩を迎える訳なので、その分、張り切っているようです。競い合うのもいいけど、飛ばしすぎてバテんようにな。

3月△日

今日から正式に通所することになった〇君は、今までに何度かの実習で当会に来ていて、みんなお馴染みのはずだけど、さすがに少し緊張している様子。そんな〇君の初仕事は回収作業。各家庭の回収依頼を受けて、トラックでスタッフと一緒に不要になった雑貨や電化製品、家具等を頂いて回る仕事。大変やけど、頑張ってこいよ。

4月◇日

今日は時給ミーティングの日です。これはメンバーさんの日々の作業の工賃をスタッフだけでなく、メンバーさんも参加して決めていく大事な行事です。みんながお互いを評価し合うしんどい時間でもあるし、その分、みんなに評価されて時給が上がれば、自分の日々の作業の手応えをダイレクトに感じ取れる貴重な機会でもあります。時給が上がった人も下がった人もそれぞれ思うところはあったのでしょうか、ミーティングが終わった後の皆の表情がいつもと違って見えました。

4月〇日

しばらく(交通)事故で入院していたS君が久しぶりに顔を見せてくれた。結構な重傷で、完治するまではもうしばらくかかるとの事。本人は至って元気そうに振る舞っているが、さすがに顔に残った傷痕が痛々しい。しばらくはリハビリを兼ねて時々来てくれるようだ。早く復帰できることを願う。

4月▽日

今日は月の宮生活棟で〇君の歓迎会を開催!献立はキムチ鍋、鍋を皆でつつきながら談笑。〇君もだいぶ馴染んでくれている様子。このキムチ鍋も以前はスタッフが半日がかりで準備していたが、人が減って新体制になってからは、月の宮作業所のメンバーさんが中心になってどんどん準備してもらっている。正直、すごく助かっている。30人近くの食事を用意するのはかなり大変なのは身に沁みているから、本当にありがたい、感謝感謝。

4月□日

今日で4日間続いた9周年感謝セールも最終日!晴天にも恵まれて、中々の盛況の中、無事に終わることができました。メンバーさんもそれぞれの持ち場で奮闘してくれました。特に、衣類担当のメンバーさん達の活躍は目覚ましく、後日、皆の前で改めてその勇姿を讃えられてまんざらでもなさそうでした。さすがにセール翌日はへばってましたが(笑)

4月△日

本日は、月に一度の自転車バザー、月の宮作業所のメンバーさんの晴れ舞台!いつもは気まぐれに途中で帰ってしまうことも多いK君もさすがに今日は最後まで踏ん張ってくれていた。そして、月の宮ベテランメンバーのTさんはさすがにツボに心得た立ち回りで、自転車を見に来てくれたお客様に接客サービス中。こら、K君よ、おしゃべりもエエけど、隣のTさんを見習ってくれよ。

以上、最近特に心に残った出来事を、日誌風に書いてみました。こうやって、日常の出来事を改めて振り返るに、新体制となって、増えた負担を実感させられる事も多いですが、それ以上にスタッフ、メンバー別け隔てなく、それぞれがみんな、その人なりに大変さを背負って少しずつ成長を遂げていく姿を目の当たりにして来ました。そして、僕もそんな姿に刺激を受けつつ、また改めて日常の活動をコツコツ続けていくのでしょうか。

(専任職員・松村尚俊)

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2015年2月1日～2015年3月31日§ (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

(郵便振替口座に入金して下さった方) 森、(有)三好商事、永口、武田、三代田、西沢

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○安洲、稲崎、岡田、平尾、富田、岡島、北島、宮本、秋田、湯源、土肥、猪俣、森、西谷、宮城、西野、田村、ピンク美容室、中西、西山、豊田、奥村、京寛、近藤、大岡、久米川歯科、坂東、田中、富士、西本、高磯、山本、山田、原田、チケツト徳島河野、久米、中島、大平、加納、機械化センター、佐藤、応神小学校、藤田、峠、海部、東部県税局、中林、松下、竹中、濱永、西向、米田、笠井、高木、仁田、大和、鬼頭、青山、中川、大西、桐本、曾我井、山中、宮越、浦上内科、池住、大平、鹿山、飛川、元木、東、中原、雲財、芽形、鴻野、市川、富島、武市、長野、小川、高岸、沼田、真木野、林、橋本、上原、梅津、伊藤、川村、大櫛、土肥、尾形、加藤、徳島合同証券株式会社、清水、名倉、のぞむ歯科、明石、久積、磁船寺、阿部、脇川、桑島、門田、内田、鎌田、堀、森本、角元、大石、王、梅林、パソQ、住友、徳島中央郵便局、昼間、竹内、増田、小松、松本、坂野、笹木、岩崎、村井、金平、池北、木下、鬼子角、高橋、米澤、熊谷、鳴滝、藤井、宮武、武田、佐川、北野、福井、上田、大石、玉有、日出、小川、大北、亀井、蔭原、明石、森口、福本、クリア城ノ内、高瀬、大和、服部曾根、板東、矢野、岡、白川、大西、村上、泉、山西、斎、伊東、浅見、野澤、芽形、三好、前田、村尾、武知、真鍋、杉山、菊地、美馬、栗間、遠藤、千葉、木村、松田、岩谷、葛西、椿本、黒上、小倉、河本、上山、井内、金品、ひかり協会、樋口、三木、片岡、水谷、井関、久米川、宇治製薬○石井町○橋本、小川、市川、天狗石、友成、稲本、古津○板野町○阿波銀行、岸田○阿波市○斉藤○吉野川市○工藤、松崎、三木、瀬尾、足立、阿部、八坂、高齢者施設 エクセレント鴨島、岡山○阿南市○湯浅、坂東○北島町○結城、福谷、安芸、森田、北島、島田、振津、桑原、市原○鳴門市○西尾、水野、福島、久龍、長尾、林、谷井、大和、津留崎○藍住町○大田、宮本、田中、森○小松島市○堀内、荒木、内藤、勝野○上板町○逢坂、多富○松茂町○川道、新居、大誠不動産○北島町○桑原

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○徳島人生たすけあい家、石山、吉木、生田、重井、木元、升山、篠原、川原、楠、中川、楠藤、佐々木、熊谷、渡辺、田中、野上、美馬、高岸、橋本、杉本、高木、小林、総合ビル・メンテム株式会社、坂東、佐藤、久米川、渡、早洲、大久保、豊明保育園、蔵本、森、川尻、永井、西谷、加来、岡田、多田、林、芝原、岩井、高瀬、山本、三宅、後藤、上田井、谷口、太田、山田、井内、名倉、宮本、正木、大川、谷廣、岡本、金本、増田、矢川、藤本、真鍋、山下、後藤田、長谷川、安井、河野、田島、西澤、野々瀬、柏木、末政、小山、谷、佐古、松永、吉田、渡部、福富、川野、原田、国本、中西、板東、猪子、蓑手、松島、高橋、池本、阿部、安藤、平島、島、浅川、古川、西改、安宅、笹原、鈴江、曾我、澤口、岩田、加藤、懸山、森口、沖野、田河、角元、清水、谷、吉川、竹谷、三木、近藤、喜多、檜山、西分、加宮、栗林、西條、しらさぎ台施設(菜の花)、久保、安原、射場、宮内、湯浅、古谷、板東、日下、井坂、吉本、中平、梶谷、寺岡、池口、内田、岸、平岡、榎井、秋田、尾崎、土内、高岡、前田、西改、大野、赤松、為実、岩崎、木村、樋口、四宮、菅原、木内、木藤、新居、庄司、津田、原、林、柳川、大石、美鳥、大坪、梶田、船越、鎌田、逢坂、森崎、川又、立石、ariunbold、宮西、井戸、村尾、笠井、丸笹、五藤、大仲、堀金、竹内、田淵、小笠原、森本、大和、榊、三谷、野田、吉岡、金平、江本、武市、坂本、西野、藤中、船古○京都府○木村○美波

町○郡、内原○阿南市○須原、榊、伊藤、大山、昴○石井町○奥浦、佐藤、盛、布施、笹本、榊原、阿部、後藤、村本、藤本、山本、後藤、角田、高橋、辻、桑原、木内、岩本、田中、森下、加藤○勝浦町○森本、大久保、辻、尾山、正木○鳴門市○林、細川、田村、青木、東、高田、武地、米里、宮本、正木○阿波市○西木、坂東、有井○香川県○辻、三谷、吉村、徳島文理大学理工学部、内輪○上板町○宮本、岡本、山田○小松島市○新居、桑村、飛田、木村、富永、株本○吉野川市○上浦小学校、石田、富浦、折原、工藤、迎、洲河○藍住町○植村、古市、入山、菊地、黒川、池田、東次、岩脇、岡本○松茂町○千葉、宮井、河野○北島町○徳島北障害者支援センター、門田、内見、安藤、中内、太田、久湊、鳥田、濱口○板野町○吉田、木内、漆原、大田○美馬市○長江、加藤○三好市○佐々木○大阪府○帛谷、熊野○福岡県○山本○広島市○福澤○横浜市○宇山○佐賀県○森永○神山村○永正、千代田○東みよし町○白川○名古屋市○三浦○那賀川町○伊藤○牟岐町○湊○那賀町○西村

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またカレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様(毎回、メンバーも楽しみにしています)、お漬物、お野菜、ワカメを差し入れて下さった吉田様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。

30周年同窓会、本誌にありがとう
づがいまして。自分を振り返る
機会になりました。

おすかひすか お便り下さい

かいら版、いつも充実の内容で、
毎日の活動の様子を思いうかがい
ながら読んでいます。
厚もぶり、大変嬉しいです。ご
体に気をつけてお過ごし下さい。

いつも 扶康誌の取り組みが素晴らしいです。
絞って残しておいた汁を
凍らせて置いて、またまた活用して
頂いています。
体調に気をつけて下さい。

会費+寄附(小額で申し訳ありません)
一度お訪ねしたいと思っています。

昨年は、お名前を頂戴しありがとうございます。
お礼をお伝えするが遅くなってしまいました。
本当に申し訳ありませんでした。
おいしく使わせて頂きました。
今年もお互さまの活躍をお祈り致します。

良い身任職員に恵まれる
約、ありがとうございます。

会員の皆様からのメッセージ
会費やご寄附のお振込と合わせて、有難いメッセージを頂きました。

編集後記～「違いを認める」

「続いて、Aさんいきます。Aさんの現在の時給は146円です。Aさん、希望は？」

「10円アップ」

「Aさんの希望は10円アップということで、ではBさん」

「3円アップ。服かける仕事とか、よくやってくれた」

「次、Cさん」

「希望通り(の10円アップ)。積込の仕事がはやい」

「Dさん」

「現状(前回と同じという意味)。仕事にスマホをいじっているときがある」

太陽と緑の会リサイクル作業所では、様々なハンディを持ったメンバーの給料は、全員参加のミーティングで決定しています。時給は100円から638円まで、一人一人違います。メンバーが、お互いの「違い」を認めていくために、あえて「差」をつけています。

Yさんは作業中、ハンディの問題もあって、頻繁にトイレに行きます。

お客様が「活用して下さい」と言ってお車で品物を持って来て下さいました。

品物の量が少し多かったので、若手メンバーのEさんが「Yさん手伝って～」と叫びましたが、返事がありません。Yさんはトイレに行ったようです。

「またおらん」「いつもトイレや」「何でや」とEさん、怒りが収まりません。

「この間の時給ミーティングで、Eさんの時給どうなったっけ」

「8円上がって153円になった」

「Yさんがトイレに行っている間、Yさんの分もしてくれとるから、かなあ」

「…」

「Yさんの時給はいくらか知ってる？」

「僕と同じくらいかな」

「151円。Eさんの方がYさんよりも時給が高いよ。だから、Yさんがトイレ行っている間、Eさんが頑張るのは、当たり前ちゃうで」

前回の時給ミーティングで、Yさんについては、「トイレに行くことが多くて肝心な時におらん」「トイレにいる時間が長い」といった、批判的なコメントが、他のメンバーから相次ぎました。

「Yさんはあかん人や」という空気に包まれ始めたところで、「時給が仕事に見合っているかどうか、が問題。トイレに行くことが多くても、時給が高くなければ問題はない」と一石投じました。

通うだけで精一杯、頑張りすぎてしまうと、幻聴や被害妄想がひどくなって、再入院に至るリスクを抱えている方もいます。ハンディの異なるメンバーからは理解しにくい部分であり、「皆が頑張っているのに、あいつ一人休憩してさぼっている。ちゃんと仕事せんとあかん」となることもあります。

「できない」「分からない」ために学校や社会で苦渋を味わってきた人が、「できない人」「分からない人」に同じことを行っていく。それは自分を貶めることにもつながっていきます。

様々なハンディを持ったメンバーが、自分の足で立って行こうとする場所では、排除とは異なる軸が必要です。

作業で成果を上げたメンバーについては、他のメンバーが「時給」という形でその作業を評価する。

同時に、時給 200 円の人が働いている間、時給 100 円の人が休憩することもメンバーが認めていく。

どちらか一方だけ認めるのではなく、両方認めていくことがバランスにつながります。「時給」とは、あくまで、お互いを認め合っていく仕組みのひとつです。

職員も例外ではありません。「私は資格を持っているから、指導、支援をやっているから、売上に貢献しなくてよいんだ」という言い訳はここでは通りません。

1か月13万円もらっているのであれば、それをメンバーに納得してもらえだけの仕事（売上への貢献）を示さなければ、「何や、職員だけ守られとるんか」といった声がメンバーから出てきます。

「職員は税金で守られていて指導・支援でメシが食えるが、メンバーはそうではない」場所で、「職員もメンバーも共に働く仲間だ」と言っても、メンバーには届きません。

「それやったら、ワシが職員になるから、あんたがメンバーになってくれ」

メンバーのHさんだったら、耳の痛い言葉を職員に返してくるでしょう

（こういうメンバーは施設職員の方から嫌われるかもしれませんが…）。

今年特別支援学校を卒業したばかりの新人メンバーGさんが初めての時給ミーティングに参加しました。本人は5円アップの希望を出しましたが、皆の評価は平均すると9.5円アップでした。

「もっと給料をもらえるようになって、(作業に必要な)服とか、靴とか、かばんとかを買いたい」

「E君よりは自分の方がよう仕事していると思う」

「やってもやらなくても給料が同じ、はしんどい」

こちらますます試されそうな予感です。(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
088-642-1054 (リサイクル)

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
データ入力・タックシール添付 岡田
ゆうメール押印 堀
製本・発送作業 太陽と緑の会月の宮作業所

年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703